

WG 活動報告

10: 悪性リンパ腫(ML)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	血液内科
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
近藤 英生	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鈴木 律朗	名古屋大学医学部	造血細胞移植情報管理・生物統計学
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科(第一内科)
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液腫瘍内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
酒井 リカ	神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科検査技術科学専攻 病院・病態検査学
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
鈴木 達也	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科
千原 大	愛知県がんセンター研究所	疫学予防部
多田 耕平	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科

② 2012 年 12 月末時点で承認された研究、及び業績一覧

10-1 「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 伊豆津宏二
<p>学会発表: Izutsu K, Suzuki R, Kako S, Sakai R, Mori T, Yano S, Kato J, Fukuda T, Taniguchi T, Takanashi M, Morishima Y, Tanaka J, and Suzumiya J</p> <p>Poor Performance Status, Chemorefractory Disease At Transplantation, and Umbilical Cord Blood As Donor Source Were Adverse Prognostic Factors for Overall Survival After Allogeneic Stem Cell Transplantation for Follicular Lymphoma: Retrospective Study of the Japan. Society of Hematopoietic Stem Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group.</p> <p>53rd American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition(Poster session, abstract 3093) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA</p>

<p>伊豆津宏二、鈴木律朗、賀古真一、酒井リカ、森毅彦、矢野真吾、谷口修一、福田隆浩、加藤淳、高梨美乃子、森島泰雄、田中淳司、鈴木淳司</p> <p>濾胞性リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の予後因子解析: JSHCT 成人悪性リンパ腫 WG からの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 演題応募済み 論文業績:</p>	
10-2	<p>「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植」 PI: 吾郷浩厚</p> <p>学会発表: 吾郷浩厚, 加藤 光次, 名和 由一郎, 加藤 春美, 鈴木 淳司, 福田 隆浩, 谷口修一, 小川 啓添, 衛藤 徹也, 鈴木 律朗, 長村 登紀子, 森島 泰雄, 坂巻 壽 日本造血細胞移植学会 Adult Lymphoma WG 悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討—Adult Lymphoma WG による一元化データ解析— 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 論文業績:</p>
10-3	<p>「節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型(ENKL)の移植成績」 PI: 鈴木律朗</p> <p>学会発表: Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Party. The 11th International Congress on Malignant Lymphoma (Oral presentation, Abstract #41) June 15, 2011, Lugano, Switzerland Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Hematopoietic stem cell transplant for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type: JSHCT Lymphoma WG. 第 73 回日本血液学会総会(口演). 2011 年 10 月 14 日(金)、名古屋国際会議場 Suzuki R., Kako S., Hyo R., Izutsu K., Ito T., Shinagawa K., Endo T., Sakamaki H. and Suzumiya J.: Comparison of autologous and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal-type: Analysis of The Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT) Lymphoma Working Group. The 53rd Annual Meeting of American Society of Hematology (Oral presentation, Abstract #503) (平成 23 年 12 月 10-13 日) San Diego Convention Center, San Diego, California, USA 論文業績:</p>
10-4	<p>「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」 PI: 伊豆津宏二</p> <p>学会発表: Izutsu K, Suzuki R, Fukuda T, Ueda Y, Taji H, Sakamaki H. Hematopoietic stem cell transplantation for lymphoma: Demographic data of 10500 transplants from the Transplant Registry Unified Management Program (TRUMP) of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). 11th International Conference on Malignant Lymphoma, Palazzo dei Congressi, Lugano, Switzerland (平成 23 年 6 月 15 日-18 日) 誌上发表 伊豆津宏二、鈴木律朗、福田隆浩、植田豊、田地浩史、坂巻壽、鈴木淳司 成人悪性リンパ腫症例に対する造血幹細胞移植: JSHCT 成人リンパ腫 WG 第 73 回 日本血液学会学術集会 (平成 23 年 10 月 14 日) 名古屋国際会議場 論文業績:</p>
10-5	<p>「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」 PI: 賀古真一</p> <p>学会発表: 賀古真一、伊豆津宏二、加藤光次、金成元、森毅彦、福田隆浩、小林直樹、田地浩史、橋本尚子、坂巻壽、森島泰雄、長村登紀子、鈴木律朗、鈴木淳司 ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討: 日本造血細胞移植学会成人悪性リンパ腫ワーキンググループからの報告 第 34 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 24 年 2 月 24 日-2 月 25 日)、大阪国際会議場 論文業績:</p>
10-6	<p>「移植前B型肝炎、C型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響」 PI: 加藤春美</p> <p>学会発表・論文業績:</p>
10-7	<p>「高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 千原大</p> <p>学会発表・論文業績:</p>
10-8	<p>「縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生</p> <p>学会発表・論文業績:</p>
10-9	<p>「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 近藤英生</p> <p>学会発表・論文業績:</p>

③ 会議開催記録(2012年1月-12月)

日時・場所	会議内容
2012/1/8 東京医科歯科 大学	報告事項 1) 退会メンバー 2) 平成23年度に学会発表された研究 議題 1) 研究遂行に関する意見・要望 ① 二次調査を必要とする臨床研究について ② WG発足前のデータで行ったB細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の治療成績のまとめ 2) 新規テーマを含む今後の活動 ① Blastic NK-cell lymphoma に対する同種移植(とくに RIST)について。有意義な報告とするための二次調査の必要性。 ② 高齢者に対する大量化学療法・自家移植の治療成績について。石田先生・鈴宮・吾郷先生を中心に検討を予定。 ③ 代表的な大量化学療法レジメンごとの自家移植の治療成績の比較。
2012/7/7 名古屋第一 赤十字病院	報告事項 1) 新メンバー、退会メンバーの紹介 2) STAT の配布に関して 3) 研究の進捗状況は、現在すべて論文化している最中であること 議題 I TRUMP データの追加項目 1. レジメン数に関すること 添付の TRUMP 画面「移植までの化学療法レジメン数」が分かりにくいということで、『レジメン数』が分かるように以下の内容を記載してもらおう。「当初から計画しているものであれば2つ以上のプロトコル、放射線、大量化学療法込みの治療であっても1レジメンと数える。再発時治療や治療経過中に病勢進行、治療抵抗性などにより治療方針を変えた場合、同治療を別レジメンと数える。具体的には“R-CHOP療法”のコース数ではなく、“R-CHOP療法6コース”など一連の治療を1レジメンと数え、この移植の前処置開始以前に行われたレジメン数を記載してください。」とする。 2. TRUMP への新たな項目追加に関すること II 新規テーマを含む今後の活動 1. 国立がん研究センターの金先生から以下のご提案 ① WG 発足前に申請した B 細胞リンパ腫に対する自家・同種移植に関する研究については、金先生と多田先生から論文の Draft が提出された。 ② 大韓血液学会リンパ腫 WP より提案の T-cell lymphoma + NK-cell lymphoma に対する自家移植後再発患者を対象とした同種移植の後方視的臨床研究への参加 ③ 稀な T-cell lymphoma に関する研究の提案 ④ 一元化データの解析に対する中央診断が必要に関すること 2. その他の新規テーマ ① 加藤春美先生より肝炎との関連の研究テーマが提案 ② 鈴宮より PTCL の稀少腫瘍のデータのまとめの研究が提案

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012年11月末時点)

(568)回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

今年度は新しい委員の先生方、それも大変若い将来性豊かな先生方にも加わり、27名の委員になりました。各委員は成人リンパ腫の移植医療にさまざまな形で関わっていますが、リンパ腫治療に造血幹細胞治療を加え、治療成績の向上を図っていきたいという思いは同じです。今後はこのWGを母体に前向き試験を計画したいと考えています。その際、前向き試験を実施するために、TRUMP データをうまく活用していきたいと考えています。とくに、若い先生方の業績、キャリアアップにつながるような仕事をしていきたいと考えています。患者さんや TRUMP データを提出していただいている先生方の期待に添えるようにWGの委員一同力を合わせてより一層、明るく、楽しくやっています。関係のWGの先生方もよろしく協力ください。